

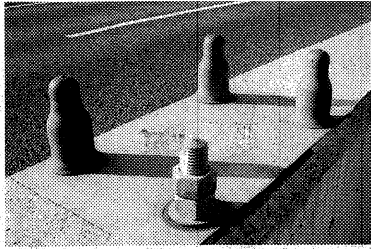


株式会社ツルガ

建設通信新聞

2008年(平成20年) 2月5日 (火曜日)

(2)



高速道路用に TS キャップ

ツルガ

ツルガ(本社・大阪府東大阪市、敦賀伸吾社長)は、これまでのボルト・ナット防錆キャップでは困難だった「安全性」も

兼ね備えた、高速道路用のTSキャップ「写真」を開発し、1日から出荷を始めた。

現在、多くの場面で使われている硬質プラスチック製ボルト・ナット防錆キャップは、外れた際に割れる、破片が道路に

飛び散ることなどから事故につながる危険性があった。その危険性のため、高速道路では防錆用としてのボルト・ナットキャップを使えず、剥き出しのままの状態だった。同製品は軟質塩化ビニール製となっていることから、ボルト・ナットに

密着した状態で被せるため外れにくく、外れた場合も割れないなど、事故発生率を下げられ、高速道路の照明柱や防音壁のアンカーボルト部分などにも利用可能となった。さらに、使用するボルト

・ナットを型取りして作成するため、「色彩・サイズ・形状」のカスタマイズが可能のほか、小ロットにも対応できる。問い合わせは、同社・電話06-6785-5551。

2008年2月5日、建設通信新聞「高速道路用 TS キャップ」が掲載されました							